

指針の逆引き活用例集

Q このまま集落を衰退させたくないけど、何から始めればいいのか？

A 1 外部人材を活用して、
できることから始めれば
いかがですか。

○ボランティアの活用

とやま農業・農村サポーター活動支援事業

必要とする集落への学生、企業等のボランティア活動のマッチングを行います。

指針 p26~28

○企業・団体と連携した地域活性化

中山間地域チャレンジ支援事業

集落と企業・団体が連携して行う地域活性化の取組みに支援します。

- ・補助金額 250 千円
(補助率 1/2 以内)
- ・実施期間 3 年以内

指針 p26~28

○学生の受入による地域活性化

とやま農山漁村インターンシップ事業

近年、都市部の若者を中心に農山漁村への回帰の動きが活発化していることから、地域活力の向上や次世代の担い手確保・育成として、都市部の学生・若者を一定期間受け入れ、地域づくり活動や交流プログラムを実施することに支援します。

指針 p35~37

A 2 都市住民との交流
を開始、拡大すれば
どうですか。

○都市住民との交流

とやま帰農塾推進事業

農林漁業体験等による宿泊型の田舎暮らし体験講座を開催します。

指針 p40~42

○都市住民との交流拡大

とやまの田舎交流支援事業

地域の魅力ある素材や資源を活かした都市住民との交流活動に支援します。

- ・補助金額 200 千円
(補助率 1/2 以内)
- ・実施期間 2 年

指針 p35~36

A 3 複数集落が役割分担し、
集落間でのネット
ワークを作ればどう
ですか。

○複数集落による協定、 協働

元気な中山間地域 づくり支援事業

中山間地域において、集落協定を策定し、それに基づく農業生産活動を行う集落に、生産条件の不利を補正するための直接支払を実施します。

- ・おもな交付単価
急傾斜：21,000 円/10a
緩傾斜：8,000 円/10a
(他に加算措置有)

指針 p29~30

○共同活動による地域資源の保全

多面的機能支払支援事業

水路、農道等の地域資源の保管理に地域ぐるみで取り組む集落等に直接支払を実施します。

- ①農地維持支払
3,000 円/10a
- ②資源向上支払
 - ・共同活動 2,400 円/10a
 - ・施設の長寿命化
4,400 円/10a

指針 p43~45

Q 条件が不利な中山間地域は、どうすれば収入が得られるの？

A 1 地域資源や地域の強みを活かしてみませんか。

A 2 加工・販売で付加価値を付けたり、新商品開発すればどうですか。

○モデル地域の事例活用

とやま型中山間地域資源利活用推進事業

農林産物、伝統文化等の地域資源を活用した取組みへ支援

指針 p20~22

モデル的な取組み事例を参考に地域資源を活用

○地域の強みを活用したチャレンジ

とやま型事業成長戦略チャレンジ支援事業

地域の強みを活かし、所得拡大にチャレンジする経営体へ支援

①ソフト支援

マーケティング調査、研究開発、コンサル相談等の経費

・標準事業費300千円（県1/2、市町村等1/6）

②ハード支援

必要な機械・施設整備費

・標準事業費 20,000 千円（中山間地域）
（県 1/2、市町村等 1/6）

指針 p16~17

○6次産業化の取組み推進

6次産業化とやまの魅力発信事業

農林漁業者と観光業者等が連携して行う、6次産業化商品の共同開発、加工機材整備、観光PR、体験農園、農家レストランの整備等へ支援
・標準事業費 6,000 千円（県 1/3、市町村 1/6）

指針 p20~22

○農村女性起業組織の新商品開発など

がんばる女性農業者支援事業

スキルアップを図るための講座や勉強会の開催、事業規模拡大などのための施設整備へ支援

指針 p20~22